

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	総合英語 I R
科目基礎情報						
科目番号	0029		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報電子工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	New Edition Grove English Communication II					
担当教員	倉増 泰弘,柳本 萌子,東 宮史					
到達目標						
1. テキストに含まれる情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。 に含まれる情報や考え、発音のポイントなどを理解しながら音読できる。 3. テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどが書ける。 4. テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどが話せる。				2. テキスト		
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	テキストに含まれる情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることが十分にできる。		テキストに含まれる情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることとおおよそできる。		テキストに含まれる情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができない。	
評価項目2	テキストに含まれる情報や考え、発音のポイントなどを理解しながら流暢に音読することが十分にできる。		テキストに含まれる情報や考え、発音のポイントなどを理解しながら流暢に音読することがおおよそできる。		テキストに含まれる情報や考え、発音のポイントなどを理解しながら流暢に音読することができない。	
評価項目3	テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどを書くことが十分にできる。		テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどを書くことが十分にできる。		テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどを書くことができない。	
評価項目4	テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどを話すことが十分にできる。		テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどを話すことがおおよそできる。		テキストに含まれる文法事項を理解し、またそれらを用いて自分の意見や考えなどを話すことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2						
教育方法等						
概要	本科目では、語学力の中心である読み書きを中心とした授業であるが、適宜聞く読むといった活動も行いながら総合的に語学力を育成することを目的とする。また、様々な話題に接することで異文化理解の素養を身につける。					
授業の進め方・方法	本授業では語学力を総合的に獲得するために聞く・話すといった活動も積極的に行う。また、テキストの概要や要点を理解することに主眼を置くだけでなく、語彙学習にも力を入れており、辞書の積極的使用を推奨し、単語テスト（小テスト）は頻繁に行う。なお、本授業ではe-learningを授業外で課し、主体的な学習を促す。					
注意点	7 0 % (定期試験) + 2 0 % (e-learning) + 1 0 % (課題・小テスト)					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	初回授業説明（シラバス、e-learningなど）		1）シラバスを参照しながら、授業の目標や授業計画などを確認する 2）e-learning開始準備をする	
		2週	LESSON 1 Part 1 1）SV, SVC, SVO 2）富士山が世界遺産に指定された理由は何だったのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	
		3週	LESSON 1 Part 2 1）小テスト 2）SVOO, SVOC 3）富士登山はどのように広まったのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	
		4週	LESSON 1 Part 3 1）小テスト 2）SVC(=that節) 3）登山者の増加を何を招き、私たちは何を求められているのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	
		5週	LESSON 2 Part 1 1）小テスト 2）現在完了形 3）ロッククライミングはどのようなスポーツなのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	
		6週	LESSON 2 Part 2 1）小テスト 2）過去完了形 3）阿島さんは南アフリカで何を成し遂げたのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	
		7週	LESSON 2 Part 3 1）小テスト 2）過去完了進行形 3）アフリカでの経験を通して阿島さんが気づいたことは何だったのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	
		8週	中間考査		前期前半に学習した語彙、文法、エッセイの内容理解に関する設問に解答できる。	
	2ndQ	9週	LESSON 3 Part 1 1）助動詞 2）ニュージーランドの海岸で何が発見されたのか		1）エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2）エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3）筆者の意図を理解し、説明できる	

後期	3rdQ	10週	LESSON 3 Part 2 1) 小テスト 2) 助動詞+完了形 3) コウテイペンギンはふだんどこで生活しているのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		11週	LESSON 3 Part 3 1) 小テスト 2) 受け身 3) ハッピーフィートはどのような処置を受けたのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		12週	LESSON 4 Part 1 1) 小テスト 2) 助動詞を含む受け身 3) エチオピアの砂漠に立っているタワーは何をするためのものか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		13週	LESSON 4 Part 2 1) 小テスト 2) SV(O)O(=that節) 3) エチオピアの水不足解消のために、ヴィットーリさんはどのようなアイデアを考えたのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		14週	Lesson 4 Part 3 前期後半の復習	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		15週	期末考査	前期後半に学習した語彙、文法、エッセイの内容理解に関する設問に解答できる。
		16週	答案返却など	学習した内容の理解度を確認し、自分の弱点を把握することができる。
	4thQ	1週	LESSON 4 Part 3 1) SV(O)O(=疑問節など) 2) ワークアウトタワーはどのようにして水を生成するのか。	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		2週	LESSON 4 Part 4 1) 小テスト 2) 未来進行形 3) ワークアウトタワーにはどのような利点があるのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		3週	LESSON 5 Part 1 1) 小テスト 2) 進行形の受け身 3) トマトの原産地はどこで、どのようにヨーロッパに伝わったのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		4週	LESSON 5 Part 2 1) 小テスト 2) SVO(=that節)の受け身 3) ヨーロッパでは、トマトを食べる習慣がどのように広まったのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		5週	LESSON 5 Part 3 1) 小テスト 2) SVOO, SVOCの受け身 3) 北アメリカではトマトはどのように広まったのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		6週	LESSON 5 Part 4 1) 小テスト 2) 完了形の受け身 3) 日本ではどのようにトマトは広まったのか、また現在注目が集まっているのはなぜか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		7週	後期前半の振り返り	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
		8週	中間考査	後期前半に学習した語彙、文法、エッセイの内容理解に関する設問に解答できる。
		9週	LESSON 6 Part 1 1) 比較 2) アイスランドは何の国であると言っているか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる
10週		LESSON 6 Part 2 1) 小テスト 2) to不定詞の用法、It is ~(for~)+to不定詞 3) アイスランドの人は、夏と冬にはどのような過ごし方をするのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる	
11週		LESSON 6 Part 3 1) 小テスト 2) 動名詞 3) アイスランドにはどんなエネルギーがあり、どのように利用しているか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用でき 3) 筆者の意図を理解し、説明できる	
12週		LESSON 6 Part 4 1) 小テスト 2) SV(=be動詞)+形容詞+that節 3) スイミーとその仲間の行動は何と呼ばれているか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる	
13週		LESSON 7 Part 1 1) 小テスト 2) 関係代名詞 3) 私たちは選択の幅についてどのように考えているか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる	
14週		LESSON 7 Part 2 1) 小テスト 2) SVOC(=現在分詞/過去分詞) 3) 実験は実際どのように行われたのか	1) エッセイに出てくる新出語句の意味を理解し、発音できる 2) エッセイに出てくる文法表現を理解し、実際に使用できる 3) 筆者の意図を理解し、説明できる	
15週		期末考査	後期後半に学習した語彙、文法、エッセイの内容理解に関する設問に解答できる。	
16週	答案返却など	学習した内容の理解度を確認し、自分の弱点を把握する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	e-learning	ポートフォリオ	課題・小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	20	0	10	100
基礎的能力	70	0	0	20	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0